

## 放射能測定結果(試験焼却中測定)

富山地区広域圏事務組合

### 排ガス中の放射性セシウム測定結果

試料採取日 平成24年12月16日の測定結果

単位:ベクレル/ノルマル立方メートル

試料名	放射性セシウム濃度	セシウム134	セシウム137
排ガス(ろ紙部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(ろ紙部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)

試料採取日 平成24年12月17日の測定結果

単位:ベクレル/ノルマル立方メートル

試料名	放射性セシウム濃度	セシウム134	セシウム137
排ガス(ろ紙部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(ろ紙部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)

\* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ0.2Bq/Nm<sup>3</sup>。

\* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

排ガス中の放射性物質をフィルターによるろ過捕集、吸収瓶による液体捕集で試料ガスを捕集します。

測定機関:日本海環境サービス(株)

\* 空気中の放射性物質の濃度限度

$$^{134}\text{Csの濃度 (Bq/m}^3) / 20 (\text{Bq/m}^3) + ^{137}\text{Csの濃度 (Bq/m}^3) / 30 (\text{Bq/m}^3) \leq 1$$

なお、上記の濃度限度は、同一人が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む空気を摂取したとしても、被ばく線量が一般公衆の許容値(年間1mSv)以下となる濃度として設定されたものです。

(放射線審議会基本部会「外部被ばく及び内部被ばくの評価法にかかる技術的指針」(平成11年4月))。